



平成24年度第2回 「さいたま市学校安全ネットワーク推進協議会」 を開催しました

- 1 日時:平成25年2月4日(月)14:00~15:00
- 2 場所:ときわ会館 2階 会議室
(委員名簿)

教育委員会副教育長	さいたま市学校安全ネットワークセンター校代表
さいたま市自治会連合会役員	さいたま市警察部総務課企画補佐官
青少年育成さいたま市民会議役員	市民・スポーツ文化局市民生活部次長
さいたま市防犯ボランティア・リーダー	子ども未来局子ども育成部長
さいたま市PTA協議会役員	教育委員会管理部長
さいたま市PTA協議会役員	教育委員会学校教育部長
さいたま市立小学校校長会役員	教育委員会生涯学習部長

3 報告事項

- (1)平成24年度の取組状況について
 - ・「学校安全ネットワークセンター校」の委嘱
 - ・防犯ベスト等を購入するための予算の配当
 - ・防犯会議への防犯ボランティア・リーダーの派遣
 - ・各種研修会の実施
 - ・「子ども安全協定」の締結推進
 - ・青色防犯LED灯の設置推進
 - ・人的支援の実施
- (2)学校安全ネットワークボランティア研修会について
 - ①開催日・平成25年1月23日(市民会館うらわ)
 - ・平成25年1月24日(市民会館おおみや)
 - ②内容
 - ・学校安全ネットワークセンター校実践発表



【実践発表校:
針ヶ谷小・辻小・大成小・植水小】
参加者の方から、「実践発表校の取組は大変参考となりました。自分の学校でも実践したい」などの声が寄せられました。

- ・講演 「子どもと地域の安全をどう守るか
— 機会なければ犯罪なし —」
講師 立正大学文学部社会学科教授
小宮 信夫 氏

小宮氏は犯罪者は「入りやすく・見えにくい」場所(機会)を選んで犯行するという「犯罪機会論」の考え方を基に、実践的な防犯対策として「地域安全マップ」を開発し、全国で技術指導されています。



参加者の方からは、「まずは親子の絆、家庭から子どもと一緒に通学路安全マップをつくってみます」などの声が寄せられました。

(3) 子ども安全協定の締結状況について

平成25年3月現在、「子ども安全協定」の締結事業者数は50事業者となり、事業者の保有する約19,980台の車両が子どもの見守り活動に御協力くださっています。



4 協議事項

- (1)「学校安全ネットワーク推進事業」来年度の見通しについて
来年度も「学校安全ネットワーク」推進を図るため、各市立小学校への学校警備員の半日配置とともに、防犯用品等を購入するための予算を配当するなどします。さらに、防犯ボランティア体制を拡大するため、「子ども安全協定」の締結や防犯に関する研修会の充実を図ります。
- (2)意見交換(委員から)
 - ・子どもの、防犯意識の啓発や、地域防犯への関わり合いを今後も一層推進すべきと考えている。
 - ・保護者により、防犯ボランティアを始めとする地域貢献活動への参加意識に大変差があると感じる。保護者の意識改革や、学校・保護者が地域の協力者の方へ感謝の気持ちを伝えることで、学校・家庭・地域がより強く連携することができる。



防犯ワンポイントアドバイス ~ボランティアの方々への感謝を~

教育委員会では多くの人の目で見守る「学校安全ネットワーク」体制を推進してきました。この「学校安全ネットワーク」は防犯ボランティア、子どもひなん所110番の家、自治会、青少年育成会、PTAなどの協力者の方々に、日々支えていただいています。多くの学校では、ボランティアの方々に感謝状の贈呈や、児童と一緒に給食を召し上がっていただく場の設定などで、日ごろの感謝の気持ちをお伝えされていることと思います。学校・家庭・地域の繋がりをより強いものとするためにも、是非、今後もそのような取組を継続願います。

